

2022年1月27日
株式会社日本政策金融公庫

第211回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2021年10～12月期実績、2022年1～3月期見通し)

[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや悪化している。
～景況は、持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲24.0とマイナス幅がやや拡大した。
○ 借入難易感D.I.は、▲6.9とマイナス幅がやや縮小した。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。
○ 来期(22年1～3月)における保証利用要請D.I.は、▲2.6と横ばいとなった。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲27.0とマイナス幅がやや縮小した。
○ 採算D.I.は、▲33.0と横ばいとなった。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響について」

- 新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は70.1%と、20年4～6月期以降7割前後で推移しているが、内訳をみると「回復の兆しあり」とする企業の割合が9.7ポイント上昇し「回復の兆しなし」とする企業が10.1ポイント低下している。
- 業種別にみると、建設業は「現在影響あり」が56.0%と他業種と比べて低い割合となっている。
また、卸売業、小売業及びサービス業は「現在影響あり」のうち「回復の兆しあり」とする企業が前期に比べて10ポイント以上上昇している。

＜調査の要領＞

| | |
|---------|--|
| 調査時点 | 2021年12月中旬 |
| 調査対象 | 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約81%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。 |
| 有効回答企業数 | 4,808企業 |
| 回答率 | 30.1% |

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:城所、新井田、今泉)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

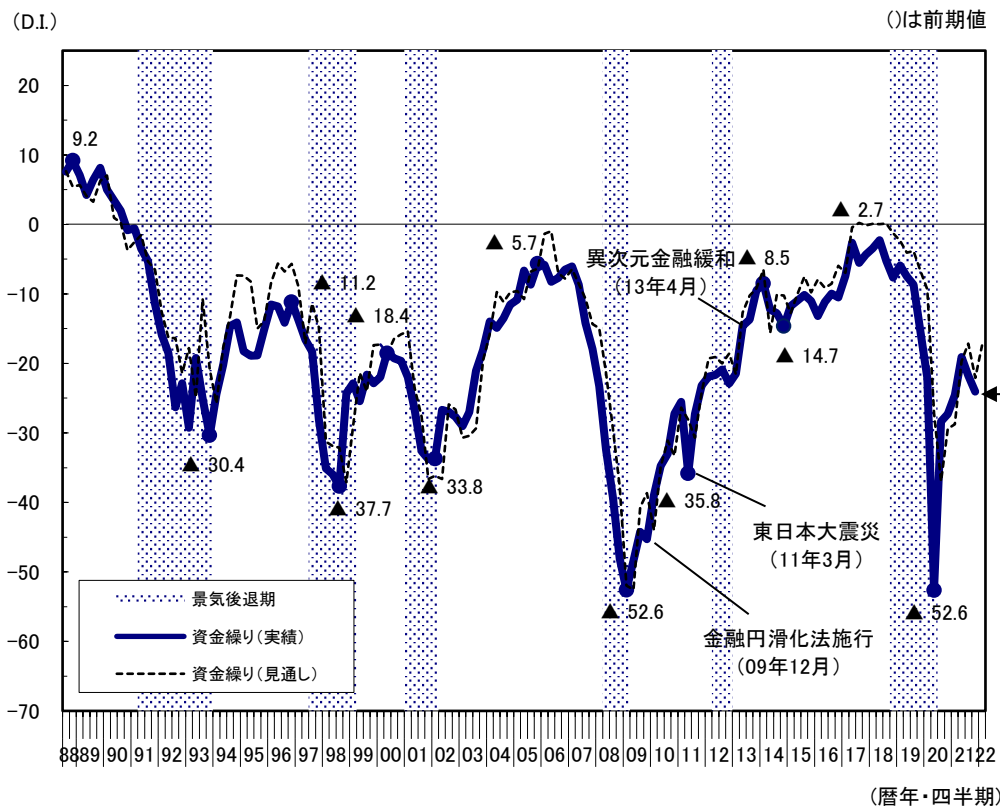
(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲24.0とマイナス幅がやや拡大した。
来期の見通しについては、▲17.4となっている。

| | | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2022/1-3 |
|----------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 資金繰りD.I. | 実績 | ▲27.3 | ▲24.6 | ▲19.1 | ▲21.7 | ▲24.0 | |
| | 見通し | ▲29.4 | ▲28.8 | ▲19.7 | ▲17.2 | ▲22.1 | ▲17.4 |

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



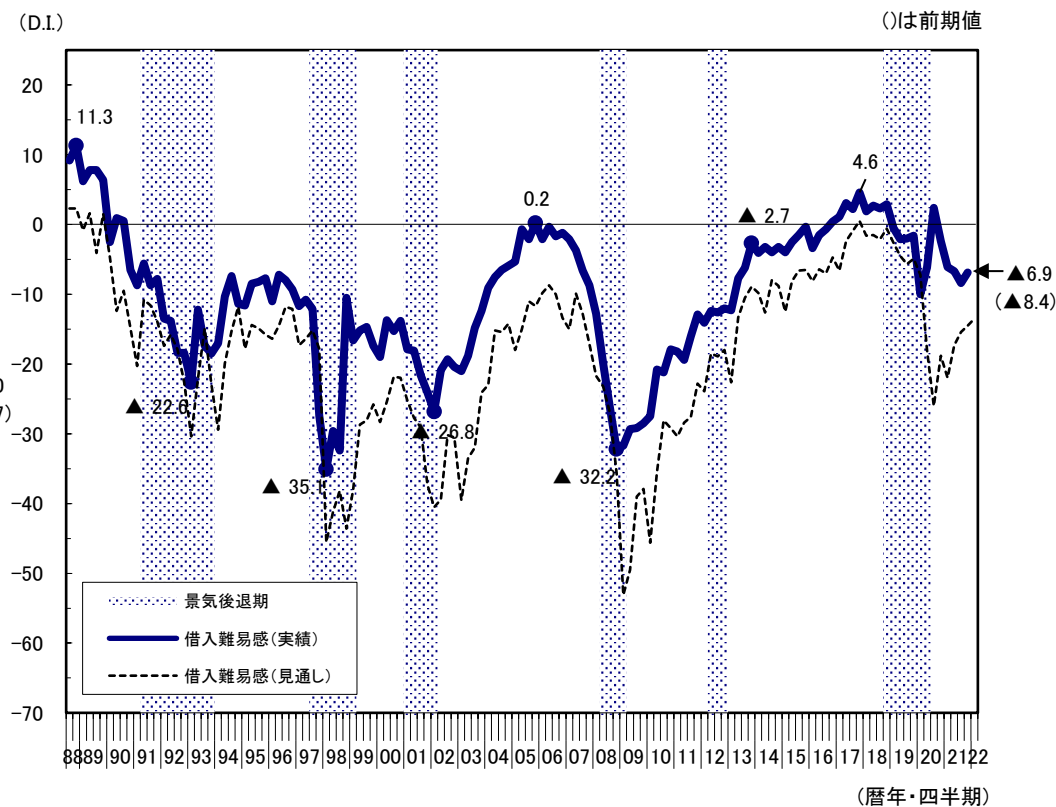
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲6.9とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲13.5となっている。

| | | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2022/1-3 |
|-----------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 借入難易感D.I. | 実績 | ▲2.4 | ▲6.1 | ▲6.7 | ▲8.4 | ▲6.9 | |
| | 見通し | ▲18.8 | ▲22.0 | ▲17.3 | ▲15.4 | ▲14.5 | ▲13.5 |

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。

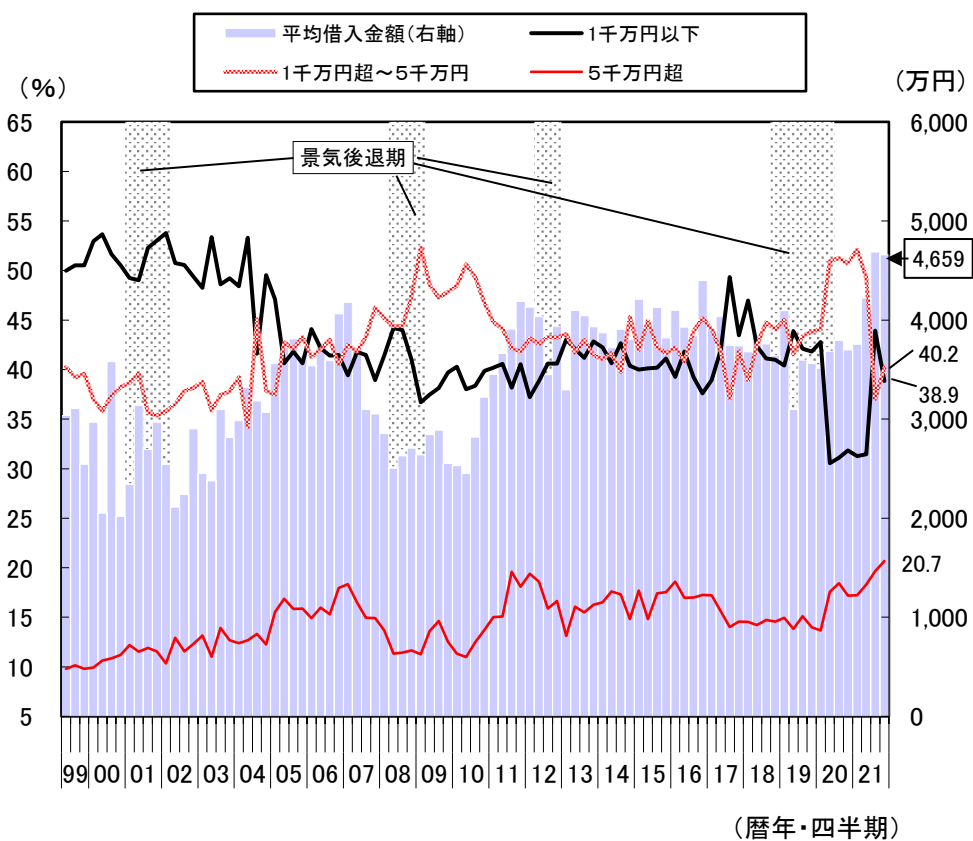
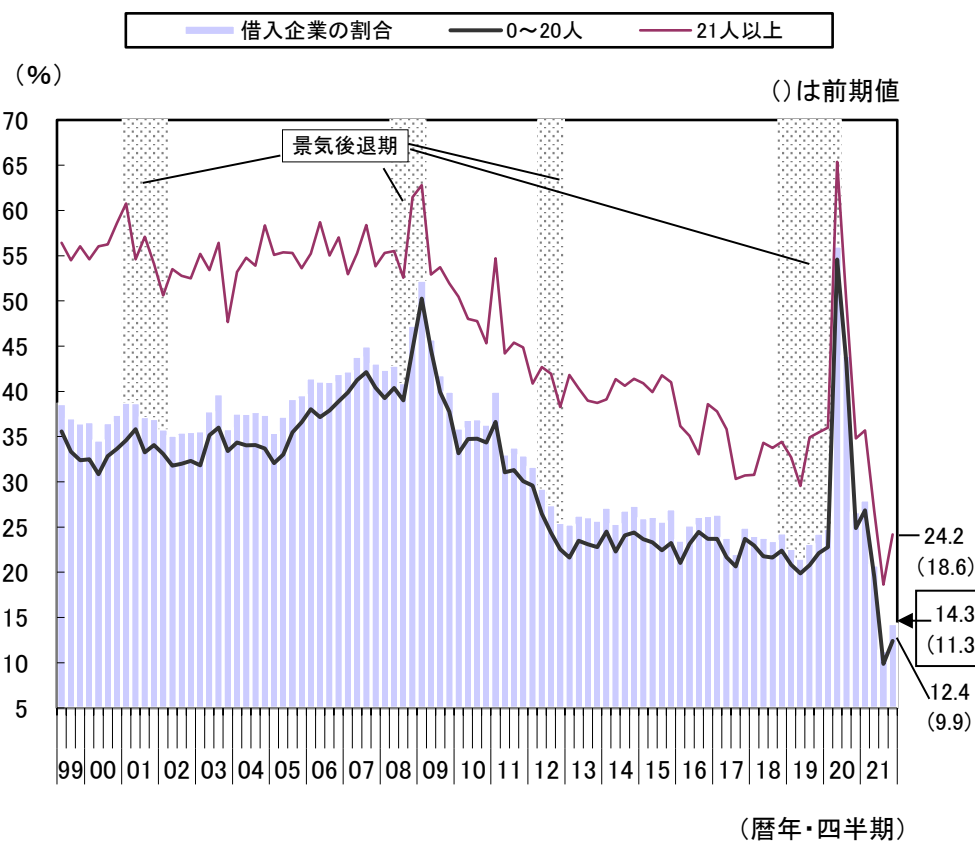
① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

| | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|---------|------------|----------|------|------|-------|
| 借入企業の割合 | 26.7 | 28.0 | 20.8 | 11.3 | 14.3 |
| 0~20人 | 24.9 | 26.8 | 19.5 | 9.9 | 12.4 |
| 21人以上 | 34.8 | 35.7 | 26.8 | 18.6 | 24.2 |

・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」が減少した一方で、「1千万円超~5千万円」及び「5千万円超」がやや増加した。

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

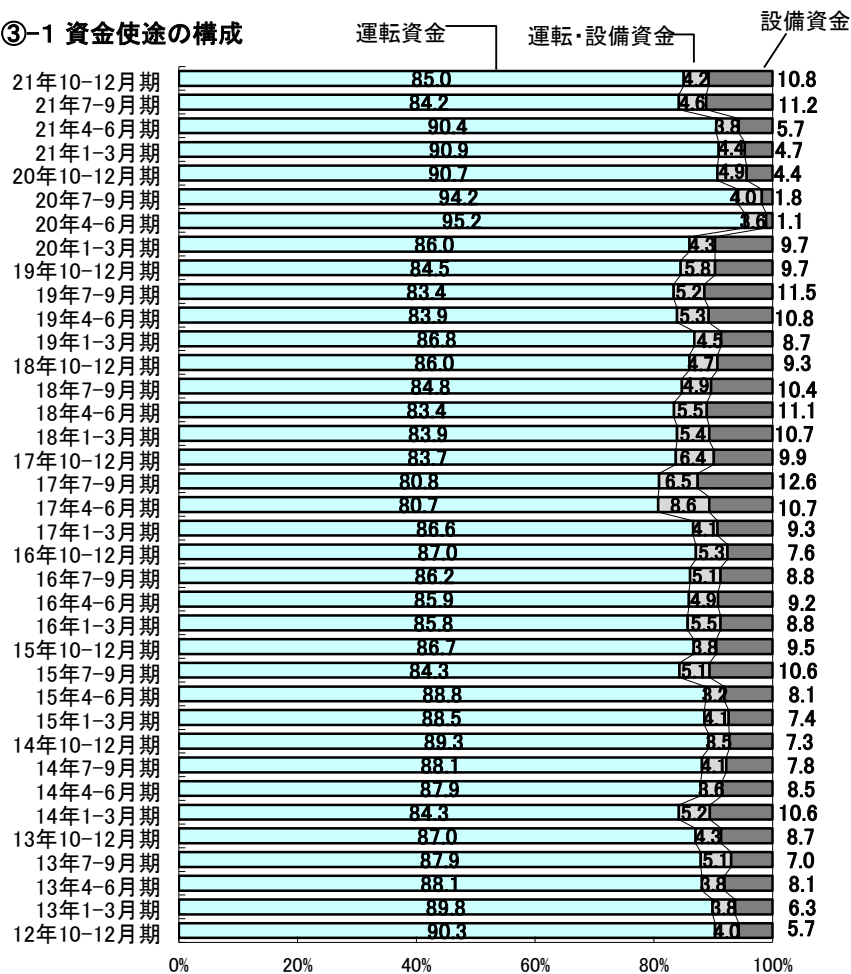
| | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|------------|------------|----------|------|------|-------|
| 1千万円以下 | 31.8 | 31.3 | 31.5 | 43.9 | 38.9 |
| 1千万円超~5千万円 | 50.7 | 52.1 | 49.2 | 37.0 | 40.2 |
| 5千万円超 | 17.2 | 17.2 | 18.3 | 19.7 | 20.7 |



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

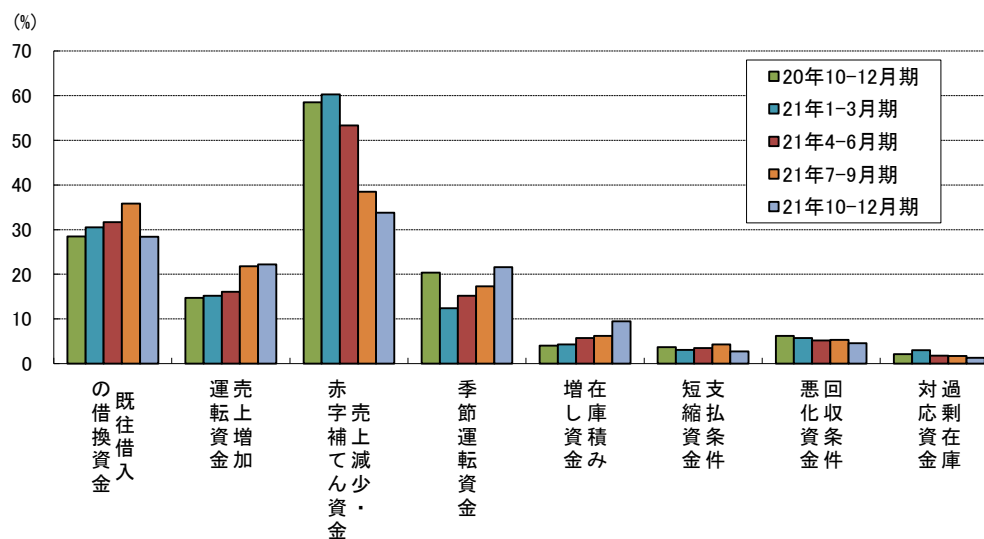
- ・資金用途については、設備資金の割合が2期連続で10%を上回った。
- ・運転資金の内訳では、「既往借入の借換資金」及び「売上減少・赤字補てん資金」の割合が減少した。

③-1 資金用途の構成



③-2 運転資金の内訳 (原数値)

| 年 | 期 | 既往借入の借換資金 | 売上増加運転資金 | 売上減少・赤字補てん資金 | 季節運転資金 | 在庫積み増し資金 | 支払条件短縮資金 | 回収条件悪化資金 | 過剰在庫対応資金 |
|-----|---------|-----------|----------|--------------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 21年 | 10-12月期 | 28.4 | 22.2 | 33.8 | 21.6 | 9.5 | 2.7 | 4.6 | 1.3 |
| | 7-9月期 | 35.8 | 21.8 | 38.5 | 17.3 | 6.2 | 4.3 | 5.3 | 1.7 |
| | 4-6月期 | 31.7 | 16.1 | 53.3 | 15.2 | 5.7 | 3.5 | 5.2 | 1.8 |
| | 1-3月期 | 30.5 | 15.2 | 60.3 | 12.4 | 4.3 | 3.1 | 5.7 | 3.0 |
| 20年 | 10-12月期 | 28.5 | 14.7 | 58.5 | 20.4 | 4.0 | 3.7 | 6.2 | 2.1 |



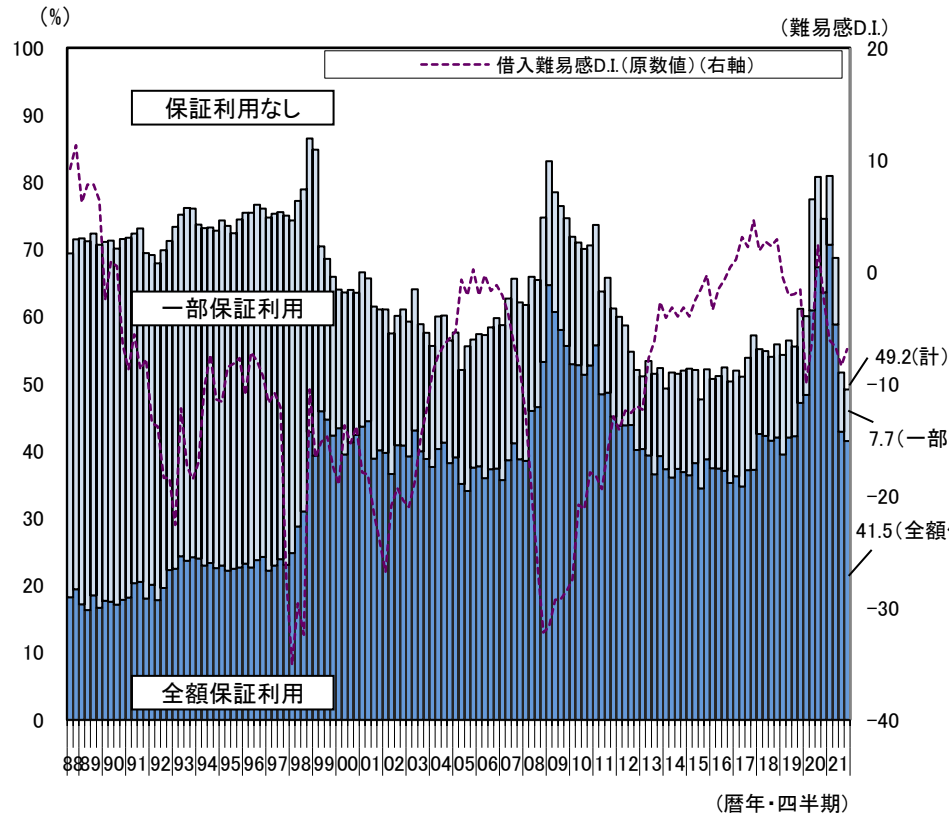
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金用途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。

| | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 |
|--------------|------------|----------|------|------|-------|
| 保証利用企業の割合 | 74.5 | 80.9 | 68.7 | 51.7 | 49.2 |
| 全額利用 | 63.6 | 70.7 | 58.8 | 42.9 | 41.5 |
| 一部利用 | 10.9 | 10.2 | 9.9 | 8.8 | 7.7 |
| 保証利用がない企業の割合 | 25.5 | 19.1 | 31.3 | 48.3 | 50.8 |

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

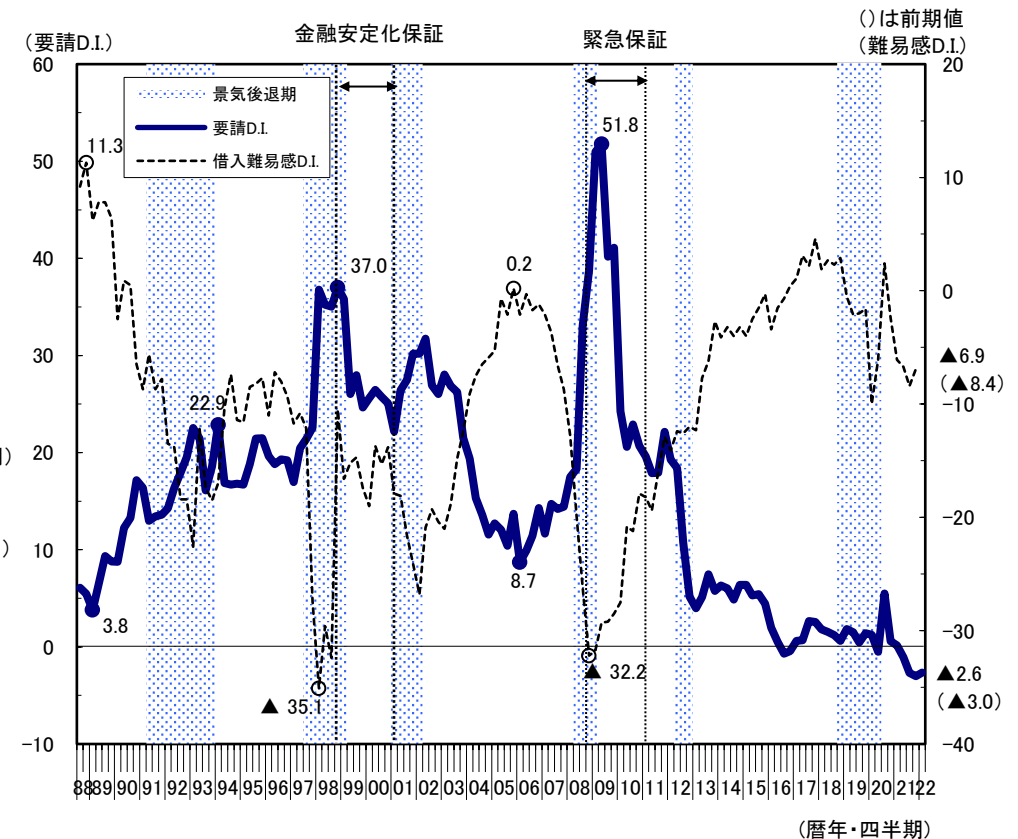
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(22年1~3月)における保証利用要請D.I.は、▲2.6と横ばいとなった。

| | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2022/1-3 |
|--------------|------------|----------|------|------|-------|----------|
| 要請D.I. 見通し | 0.6 | 0.2 | ▲1.1 | ▲2.7 | ▲3.0 | ▲2.6 |
| 借入難易感D.I. 実績 | ▲2.4 | ▲6.1 | ▲6.7 | ▲8.4 | ▲6.9 | |

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲27.0とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲8.7となっている。

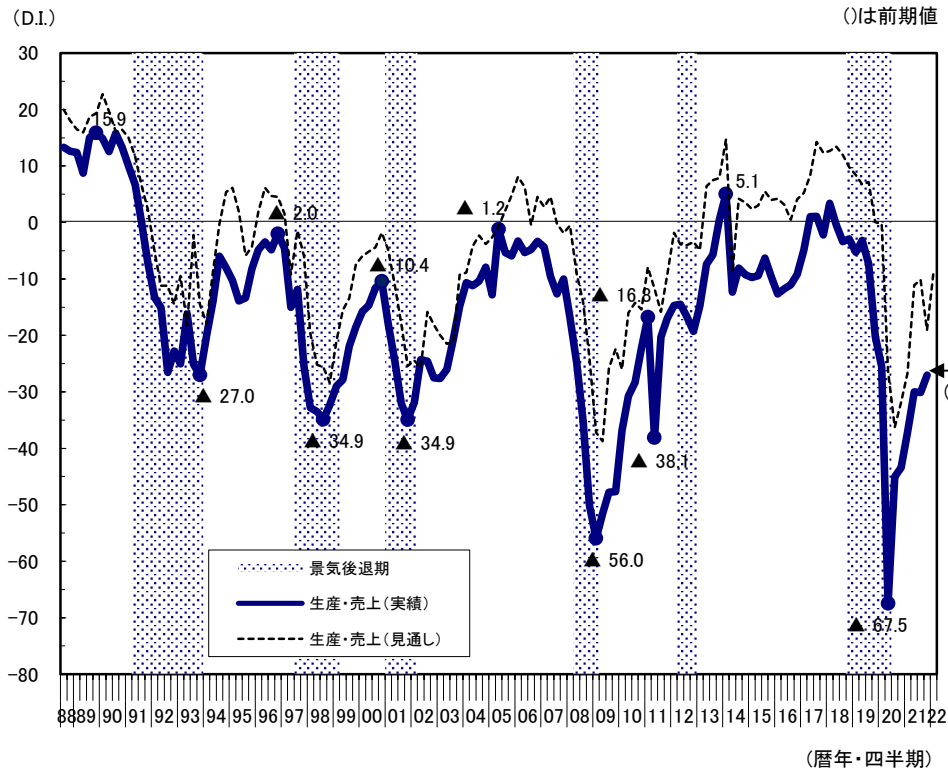
| | | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2022/1-3 |
|-----------|-----|------------|----------|--------|--------|--------|----------|
| 生産・売上D.I. | 実績 | ▲ 43.4 | ▲ 37.2 | ▲ 30.0 | ▲ 30.1 | ▲ 27.0 | |
| | 見通し | ▲ 31.8 | ▲ 26.7 | ▲ 11.1 | ▲ 10.2 | ▲ 19.1 | ▲ 8.7 |

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

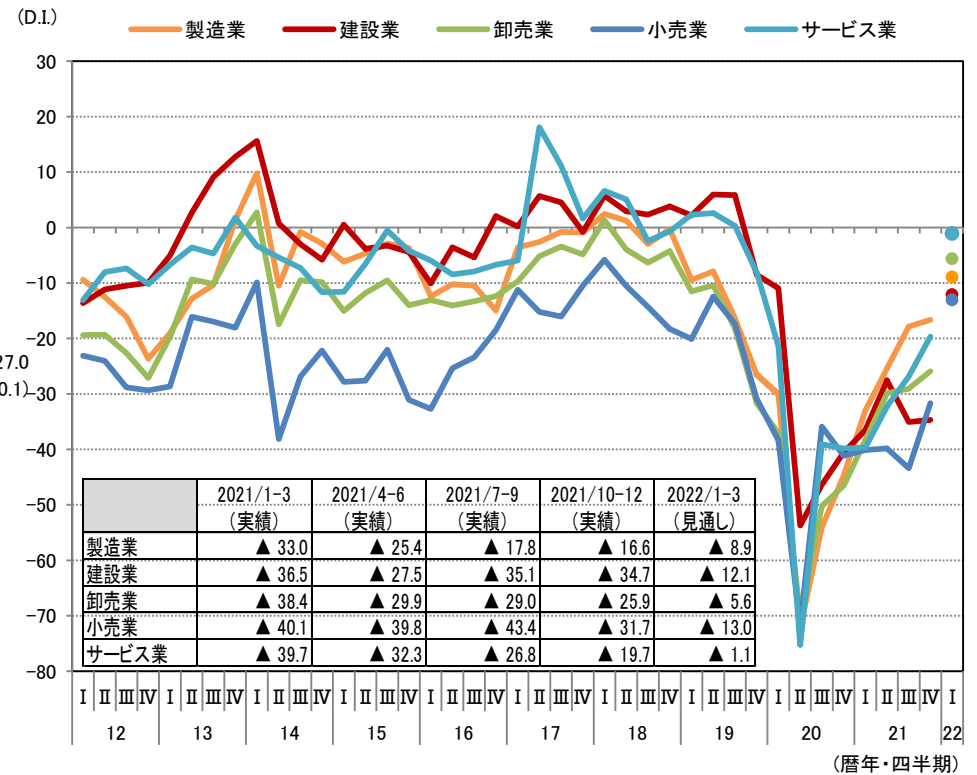
生産・売上（業種別）

・生産・売上D.I.(業種別)は、全ての業種でマイナス幅が縮小し、特に小売業は大幅に縮小した。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲33.0と横ばいとなった。
来期の見通しは、▲14.4となっている。

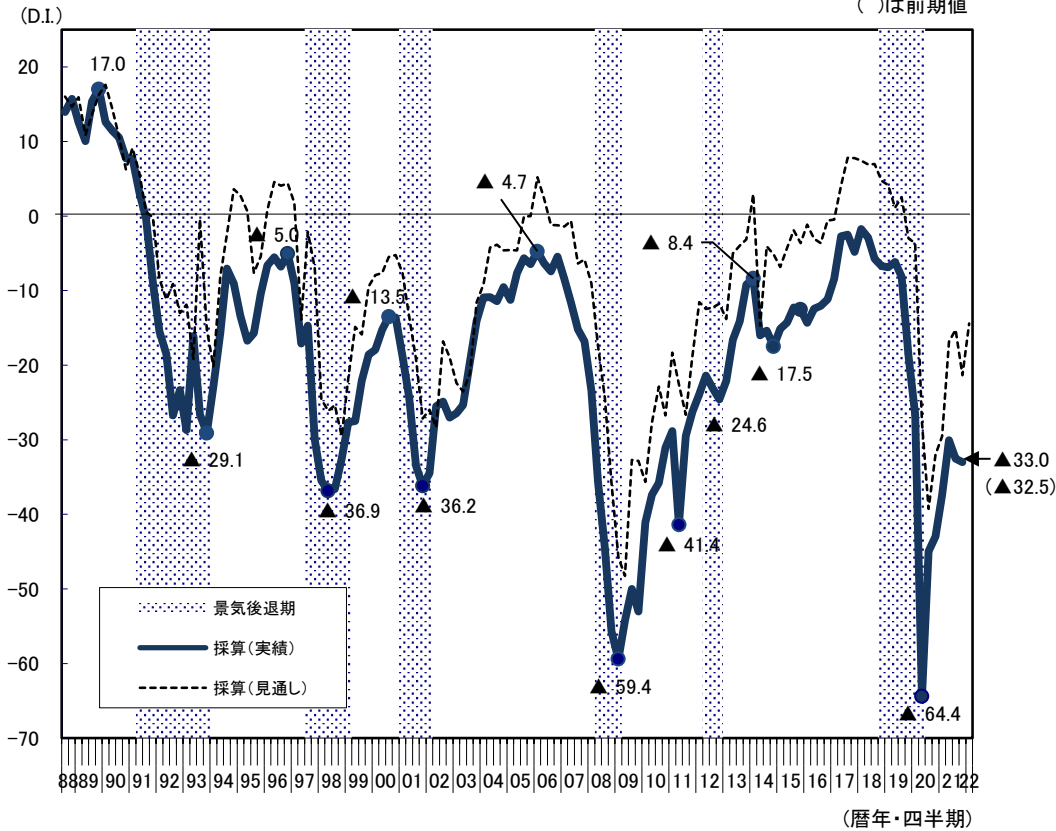
(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が68.0%と横ばいとなった。

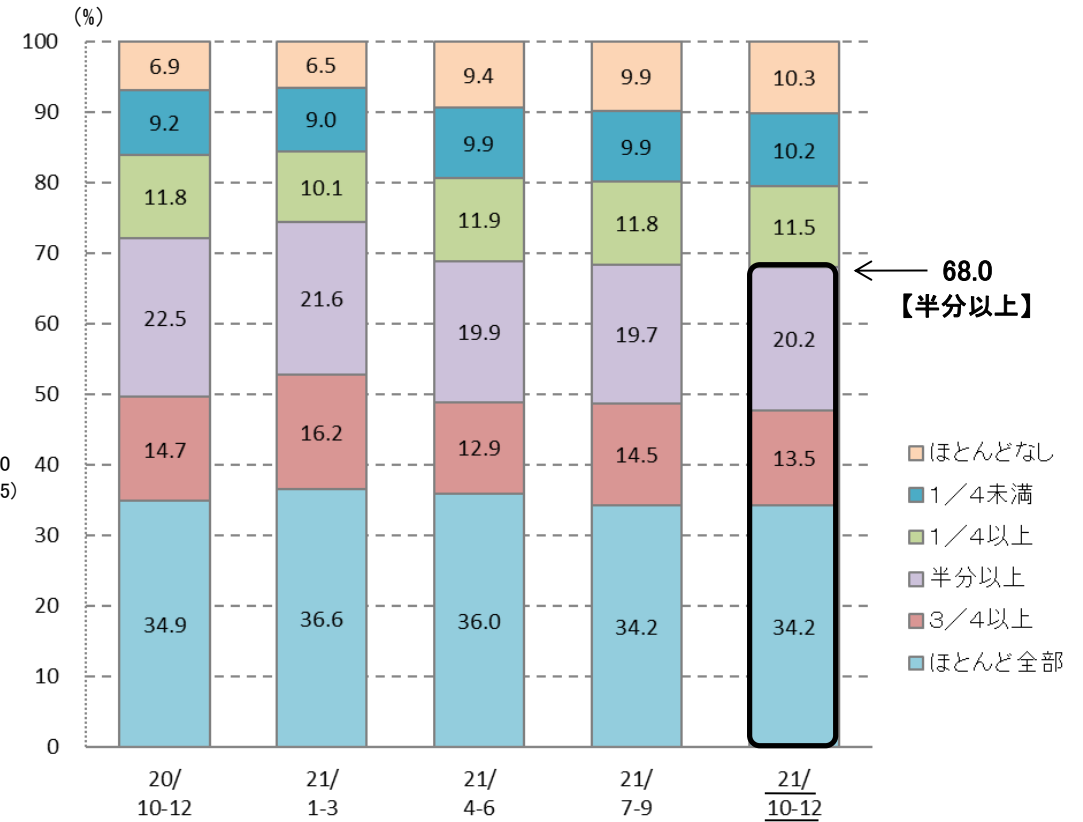
| | | 2020/10-12 | 2021/1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 2022/1-3 |
|--------|-----|------------|----------|-------|-------|-------|----------|
| 採算D.I. | 実績 | ▲43.0 | ▲37.4 | ▲30.1 | ▲32.5 | ▲33.0 | |
| | 見通し | ▲32.0 | ▲29.6 | ▲16.8 | ▲15.2 | ▲21.3 | ▲14.4 |

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

採算D.I.(季節調整値)の推移



保証利用割合の推移

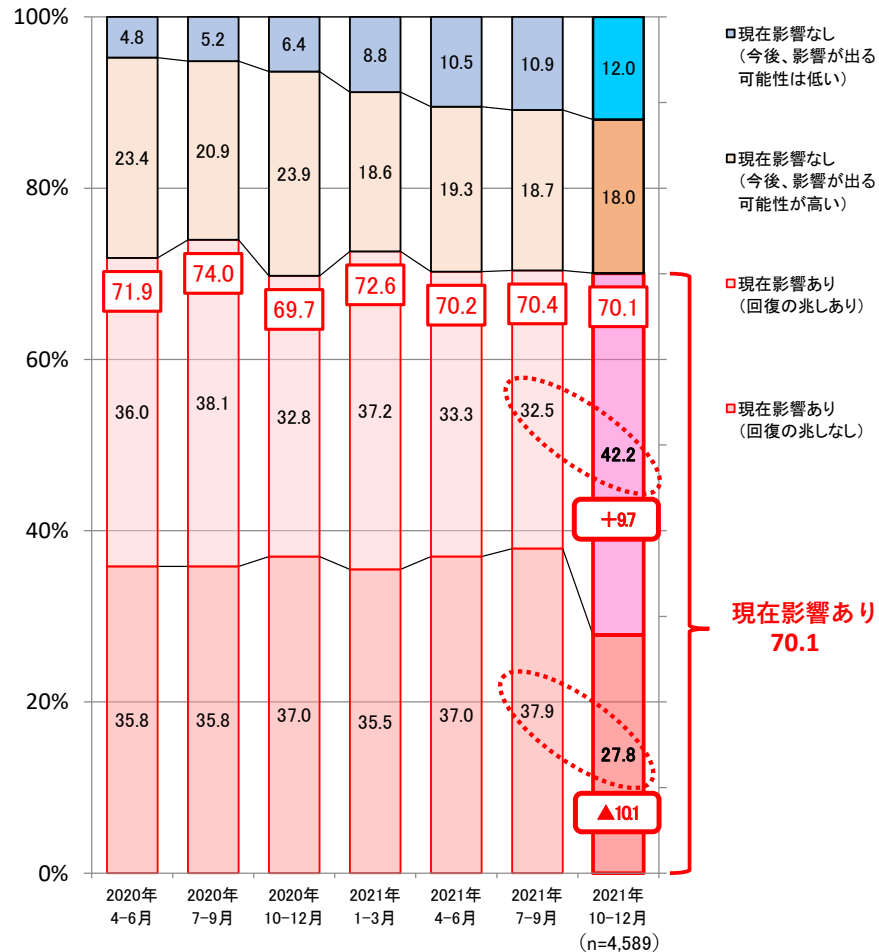


特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は70.1%と、20年4～6月期以降7割前後で推移しているが、内訳をみると「回復の兆しあり」とする企業の割合が9.7ポイント上昇、「回復の兆しなし」とする企業が10.1ポイント低下している。
- ・業種別にみると、建設業は「現在影響あり」が56.0%と他業種と比べて低い割合となっている。また、卸売業、小売業及びサービス業は「現在影響あり」のうち「回復の兆しあり」とする企業が前期に比べて10ポイント以上上昇している。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響(業種別)

